

会員に入会されますと月刊誌「道路」をお送りします。  
最新号のみ購入希望の方は info@road.or.jp までお申し込み下さい。

# 道路

Road Engineering & Management Review

3  
March  
2017  
Vol. 912

## C O N T E N T S

### 2 巻頭インタビュー

## 6事業者で労働力不足に対応する 食品物流の取組を見る

堀尾 仁

## 特集 生産性向上プロジェクト

- 10 道路の物流イノベーション  
ダブル連結トラックの導入を目指す取組等を展開  
加納 陽之助／二木 敬
- 14 トラック運送業の取引環境改善と  
生産性向上に向けた取組  
福田 ゆきの
- 18 高速道路の開通がもたらす観光産業の“革新”  
あなたの「移動」が日本を活性化する！  
福井 佳代
- 22 製造・輸送全工程で生産性向上目指す  
自動車メーカーの取組  
内陸の工場と港を結ぶ、北関東道の有効活用求められる視点  
富岡 伸哉
- 26 建設現場のICT化による  
「担い手育成」と「生産性向上」  
北海道におけるi-Constructionの取組から  
近藤 里史

31	交差点	
	トピックス	
32	圏央道（境古河IC～つくば中央IC）が開通 成田空港から湘南まで都心を経由せずに直結	松實 崇博
34	ストック効果の最大化に向けて 社会資本整備審議会専門小委員会が具体的戦略を提言	小山 健一
38	オープンカフェ -sidewalk cafe-	
	地域いきいき：近畿	
40	和歌山県かつらぎ町に 道の駅「くしがきの里」オープン 地域住民「悲願の国道トンネル」開通を活性化の起爆剤に	木村 敬
42	琵琶湖一周サイクリング 「ピワイチ」で地方創生！ 自転車を軸に観光振興進める守山市の取組	坪内 稔夫
	リレー連載 道の駅 - 地方創生の拠点から -	
44	第17回 道の駅「かわうその里すさき」 日本カワウソが生息した清流の畔、 高幡地域観光の玄関口目指す 地元食材のおもてなしで、四万十川への通過点のイメージ返上	宮川 卓也
	ZOOM UP 道路技術の最前線	
46	アクリル樹脂系接着剤を使用した 「あと施工アンカー」の開発 速硬化性や低温硬化性に優れ、作業の省力化、工程短縮が可能 さらに、使用後抜き取りが可能なアンカーも	平野 穂菜美
	技術情報	
48	「道路トンネル維持管理便覧【付属施設編】」 の概要	石村 利明
52	「防護柵の設置基準・同解説」の改定概要	竹下 卓宏／池原 圭一
57	国内のうごき	
30	特集を終えて	58 統計資料
		66 編集後記
56	橋梁調査会からのお知らせ 「平成29年度『橋梁技術に関する研究開発助成』の募集について」	
62	日本道路協会出版図書案内 巻末1 正会員入会のご案内	

### 表紙写真 生産性向上の実現に向けた取組

国土交通省では、平成28年を「生産性革命元年」と位置付け、省を挙げて「生産性革命プロジェクト」の推進に取り組んでいる。今号表紙は、道路に係る分野での生産性向上に向けた取り組み等の写真で構成。(写真提供 ①～③: 国土交通省, ④: 株式会社 榊砂子組, ⑤: 東日本高速道路株式会社)



## Main Contents

- 2 **Interview**  
Six Business Operators Challenges in Food Logistics in Response to Labor Shortage  
HORIO Jin
- Special Feature**  
Productivity Enhancement Project
- 10 Logistic Innovation in the Field of Roads  
KANOU Yonosuke  
FUTAKI Kei
- 14 Challenges by Trucking Business for Trade Environment Improvement and Productivity Enhancement  
FUKUDA Yukino
- 18 "Innovation" for Tourism Industry Brought by an Opening of Highway  
FUKUI Kayo
- 22 Auto Manufacturer's Challenges - Aiming for Productivity Enhancement in the Whole Process of Manufacturing/Transportation  
TOMIOKA Shinya
- 26 "Fostering of Personnels" and "Productivity Growth" Brought by Information and Communication Technology  
KONDO Satoshi